

3 - 15 神奈川県油壺における岩石比抵抗変化観測 (1995年5月～1996年4月) Variation in Earth Resistivity at Aburatsubo (May, 1995-April, 1996)

東京大学地震研究所
地震予知研究推進センター
Earthquake Research Institute, University of Tokyo

神奈川県の油壺で岩石比抵抗の連続観測を実施している。1995年4月までの観測結果はすでに報告している¹⁾ので、今回は同年5月より1996年4月までの観測結果について報告する。

第1表および第1図、第2図に上記期間に観測された地震に伴う比抵抗変化の記録を示す。

第1図は福島県沖地震に伴う比抵抗の変化である。同図(a)に2秒毎の1分平均値をほぼ地震を中心として12時間示す。地震時の比抵抗は 0.5×10^{-4} 減少している。同図(b)は地震時にサンプリング50Hzで記録した比抵抗(ρ)と加速度3成分の波形である。比抵抗は加速度の振幅の大きいところで変化が始まっている。第2図に山梨県東部地震に伴う比抵抗の変化を示す。同図(a)で比抵抗は 1.2×10^{-4} 減少している。地震時の比抵抗の変化は大体10月から4月にかけては減少、その他の期間は増加という傾向があり、今回もその様になっている。同図(b)において比抵抗(ρ)はこれも加速度の振幅の大きいところで変化が始まっている。地震のマグニチュード、緯度、経度、その他は気象庁の震源速報により記した。

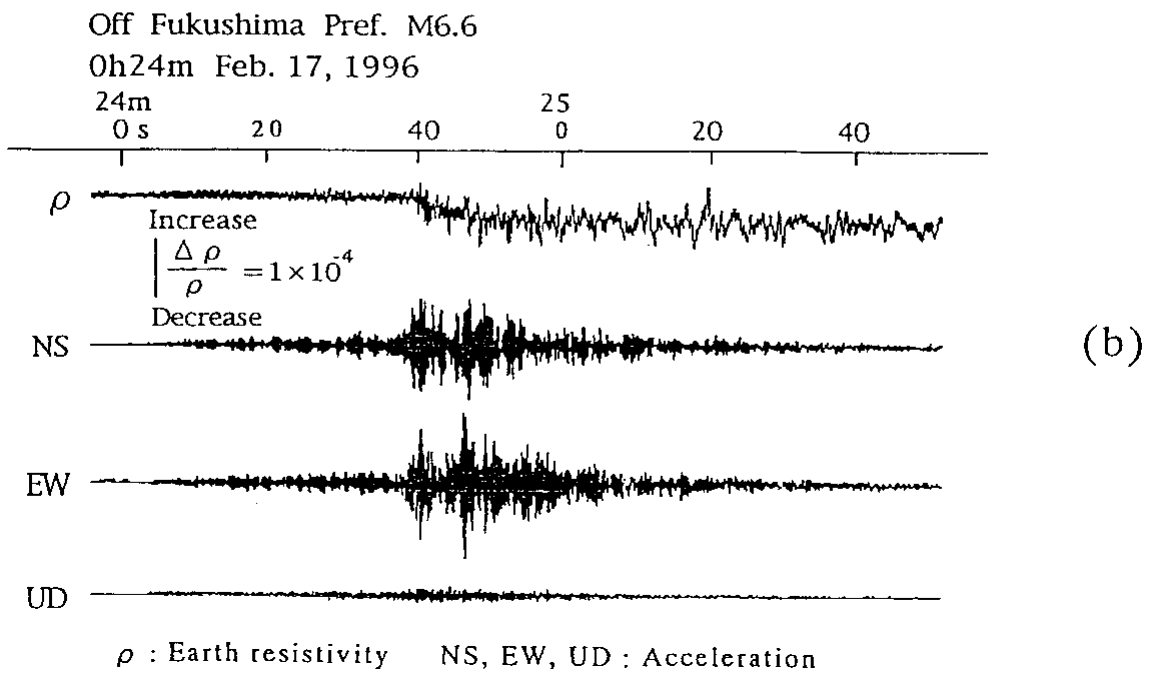
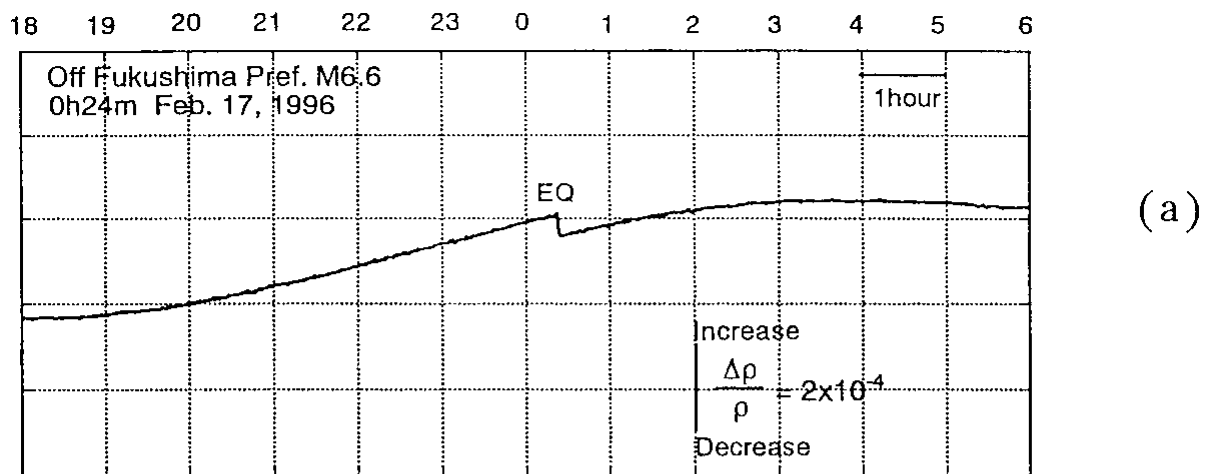
参 考 文 献

- 1) 東京大学地震研究所・地震予知研究推進センター：神奈川県油壺における岩石比抵抗変化観測，連絡会報，54(1995)，284-291。

第1表 油壺における比抵抗変化を伴った地震とそれによる比抵抗変化

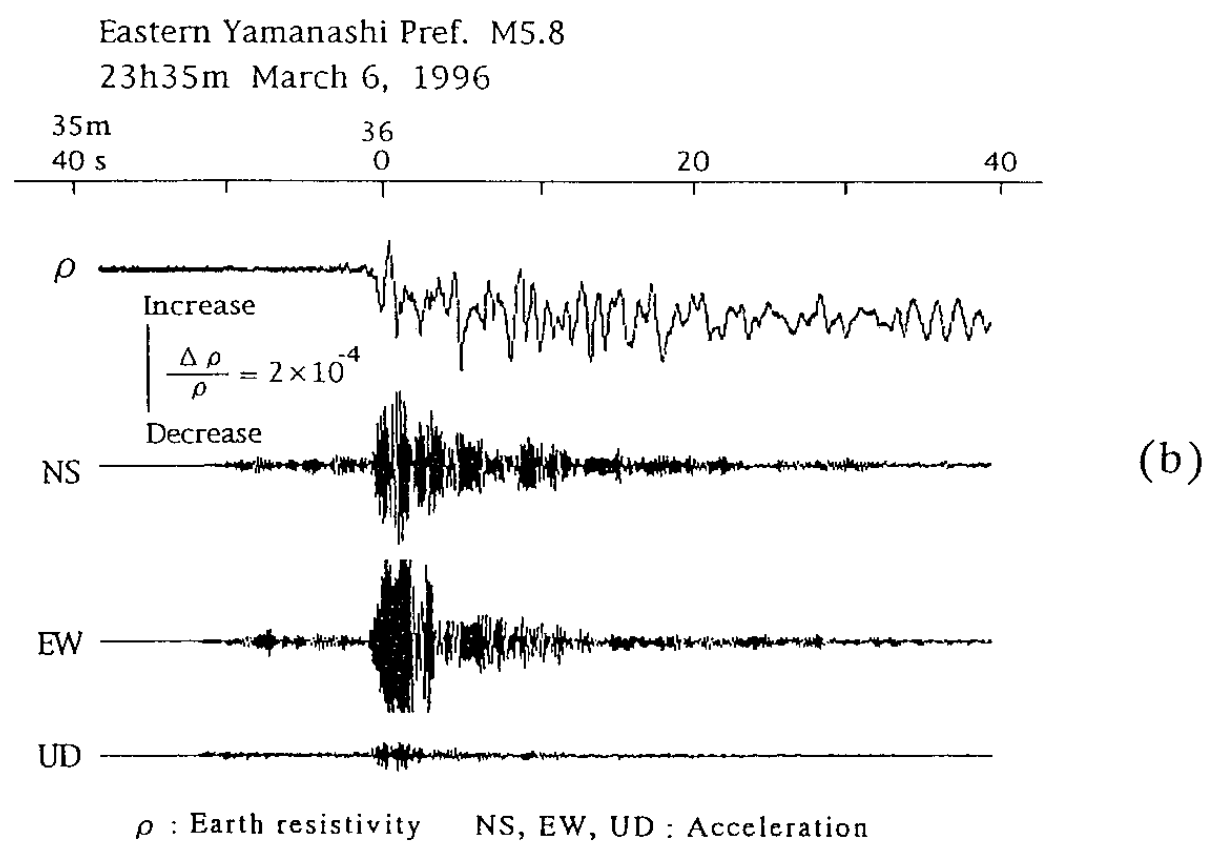
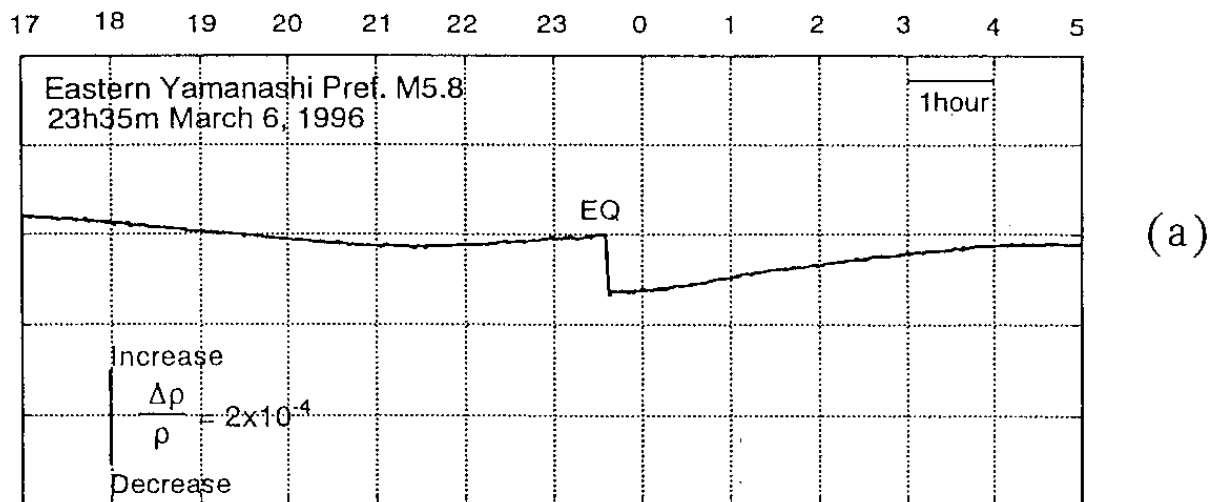
Table.1 Resistivity changes at Aburatsubo associated with earthquakes .

番号	年月日	時分	マグニ		経度	深さ Km	震央距 離 Km	比抵抗変化 $\times 10^{-4}$	備考
			チュード	緯度					
87	960217	024	6.6	37° 19'	142° 32'	51	360	-0.5	福島県沖
88	960306	2335	5.8	35 28	138 57	20	70	-1.2	山梨県東部



第1図 油壺における福島県沖地震M6.6に伴う比抵抗変化

Fig.1 Change in earth resistivity observed at Aburatsubo in association with Off Fukushima Pref. earthquake M6.6.



第2図 油壺における山梨県東部地震M5.8に伴う比抵抗変化

Fig.2 Change in earth resistivity observed at Aburatsubo in association with Eastern Yamanashi Pref. earthquake M5.8.